

春のつどいのいい

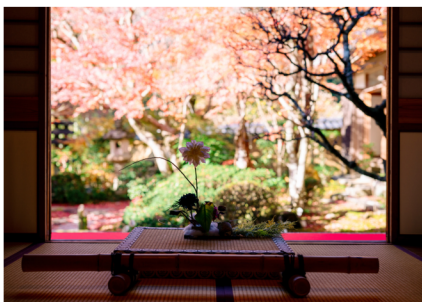
4.18.Sat

10:00~16:30

会場：天使大学

9:30~受付開始  駐車場はありません

座談会+デスクフェ体験



10:00~10:50

最期を考え今を生きる

話し手：櫻井義秀 (北大特任教授/僧侶)
照井レナ (保健師/社会福祉士)
村本好孝 (看護師)
飯田智哉 (医師)
聞き手：米本智昭 (臨床宗教師)

10:50~11:50

死の体験旅行®体験版

ファシリテーター

玉置真依 (僧侶)

※ペンをご持参ください
※死の体験旅行®は
途中参加できません
お時間に余裕を持って
お越しください

特別講演



13:00~14:30

生きている限り、 人には使命がある ~天国でカフェ~

演者：樋野興夫

(順天堂大学名誉教授/
がん哲学外来名誉理事長/
日本Medical Village学会
理事長/日本地域医療連携
システム学会理事長/
新渡稲造記念センター長)

座長：上村恵一

(国家公務員共済組合連合会
斗南病院 精神科・
緩和ケア内科 科長)

シンポジウム+講演



14:45~15:45

身寄りがいなくても 自分らしい最期を 迎えるために

演者：細谷麻弥 (看護師)
佐藤 歩 (看護師)
南 葉子 (社会福祉士)
座長：山崎美恵 (看護師)
松山茂子 (看護師)

15:45~16:15

自分が望む最期を 迎えるために今から 準備できること

講師：高橋澄恵 (行政書士)
座長：上林由加利 (ケアマネジャー)
大森桃子 (看護師)

開催方法

現地 + 後日オンデマンド配信

対象者

どなたでもご参加いただけます

参加費

2,000円 (会員・非会員問わず)

申込

申込みはこちら(peatix)



問合せ

事務局 札幌南徳洲会病院 (森岡) TEL: 011-883-0602
mail: shinorinsho@sapporominami.com



地下鉄東豊線「北13条東駅」1番出口徒歩3分

※イベントの詳細は、peatixイベントページ、北海道支部ホームページ等でご確認ください。

春のつどいのご案内



一般社団法人日本死の臨床研究会北海道支部は、4月18日(土曜日)の午前10時から午後4時半頃まで、札幌市東区の天使大学にて「春のつどい」(支部大会)を開催します。

今年の支部大会は、春の1回の開催となります。そのため、今回は例年以上に充実した内容となるように、午前・午後にまたがる3つの企画を準備しています。

みなさまのご来場を心からお待ちしております。

企画1

座談会

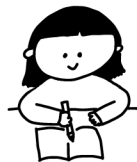


今を生きるを考えよう

多死社会において、死をタブー視せずに語り合うことは、死の恐怖をやわらげたり、今をどう生きるかをあらためて考える機会になります。

死の体験旅行®とは？

つらくなったら
途中退席OK



最期を迎える人が大切なものを失っていく過程を疑似体験することで、これからどう生きるかを考えるためのワークです。

▲気持ちが揺れ動く可能性のあるワークです。
大きなグリーフの渦中にある方や、受けた直後の方はご注意ください。

企画2

樋野さん特別講演

『がん哲学外来』を全国に広げられたことで有名な樋野興夫先生がお越しになりご講演いただきます。樋野先生の多くのご著書、また日々更新されるブログには数々の至言が織り込まれ、先生はこれらの言葉を自在に操って、患者さんやご家族を苦しみから救ってこられました。「生きている限り、人には使命がある」このご講演で先生はきっと、迷える私たちにも生きる土台をお示しになることでしょう。

☆☆ 企画3 ☆☆

シンポジウム+講演

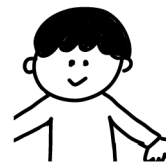


自分らしく生きるために

単身高齢者や身寄りの少ない方が増えていきます。本人が希望する最期が尊重されるには？身寄りの有無にかかわらず、自分らしい最期を迎えられるよう、今できる準備と支え合いのあり方について学びます。

welcome ~~~~~

年に1度は同じころざしを持った方々が一堂に会し、仲間がいることを実感するとともに、癒しと、そしていろいろな学びを得ていただければと思います。



支部長 おだくん